東京学芸大学大学教員理想的な年齢構成目標について

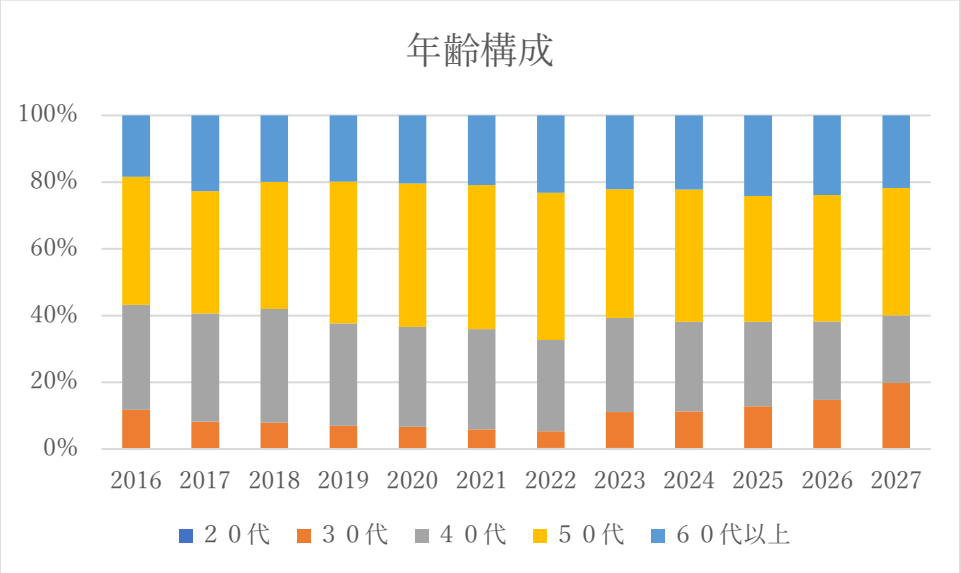
〇若手研究者の採用比率について

組織として新たな価値を創出し、発展し続けるため、若手研究者への研究支援や男女共同参画へ向けた取組を引き続き実施するとともに、テニュアトラック教員制度を導入し、若手研究者（40 歳未満）の採用を拡大する。

テニュアトラック教員制度の導入により、常勤研究者の採用における若手研究者の採用比率を 50%以上（研究プロジェクトでの採用、クロスアポイントメント制度による採用、専ら附属学校運営に携わる者の採用は除く）とし、令和 9 年度までに現在 11.1%である若手教員比率を 15%以上とすることを目標とする。目標達成後は、さらに長期的に若手教員比率を高め、20%以上に引き上げることを目標とする。

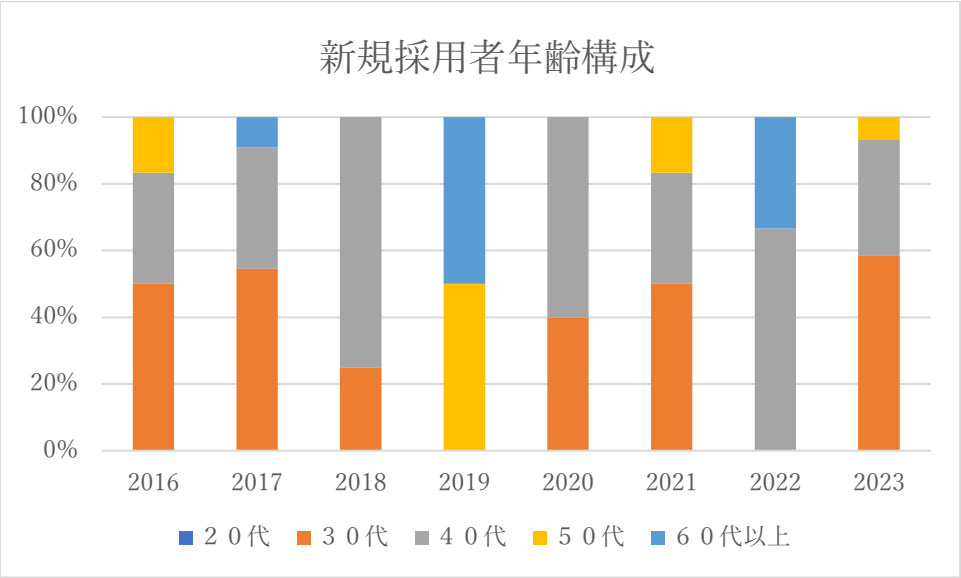
〇教授ポストの取扱いについて

これまでの教授昇任人事により、学内の組織ごとの間で教授数に大きな差が生じている。今後の人事計画を進めるに当たり、人件費抑制と組織の活性化のため、各組織とも、昇任年度当初の教員ポストの半数を教授の適正数とするということを原則とし運用する。



【年齢構成シミュレーション（比率）】　（%）

年齢区分	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
20代	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0
30代	11.8	8.2	7.9	6.9	6.7	5.9	4.9	10.7	11.3	12.8	14.7	19.9
40代	31.4	32.4	34.1	30.7	29.9	30.0	27.4	28.2	26.9	25.3	23.5	20.2
50代	38.4	36.7	38.2	42.6	43.0	43.2	44.1	38.6	39.6	37.7	37.9	38.2
60代以上	18.4	22.7	19.9	19.8	20.4	20.9	23.2	22.1	22.2	24.2	23.9	21.7
合計	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

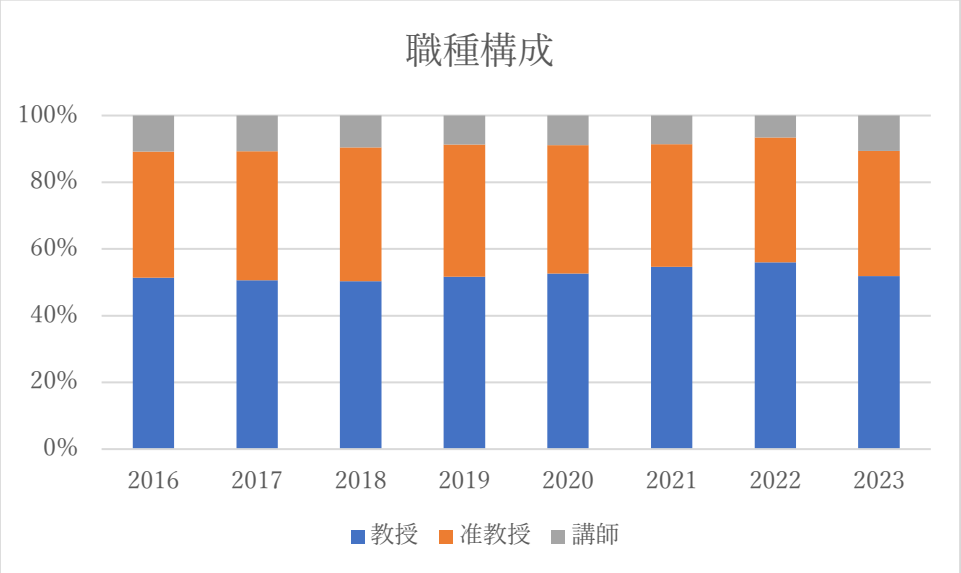


【新規採用者年齢構成】　（人）

年齢区分	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
20代	0	0	0	0	0	0	0	0
30代	6	6	1	0	2	3	0	17
40代	4	4	3	0	3	2	2	10
50代	2	0	0	1	0	1	0	2
60代以上	0	1	0	1	0	0	1	0
合計	12	11	4	2	5	6	3	29

※年齢は採用時の年齢

※研究プロジェクトでの採用、クロスアポイントメント制度による採用、専ら附属学校運営に携わる者の採用は除く



【職種構成（比率）】　（%）

職種区分	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
教授	50.5	50.0	49.8	51.2	52.1	53.8	55.1	51.1
准教授	37.2	38.2	39.7	39.3	38.0	36.3	36.9	37.1
講師	10.6	10.6	9.5	8.6	8.8	8.4	6.5	10.4
助教	1.8	1.2	0.9	1.0	1.1	1.5	1.5	1.4
合計	100	100	100	100	100	100	100	100